



CASBEE横浜2017年版v.1.3

慶應義塾(日吉)記念館建替工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.3

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
0 建築物の環境品質					-		-		3.7	
Q1 室内環境					0.40				3.6	
1 音環境				3.3	0.15	-	-		3.3	
1.1 騒音				-	-	-	-		-	
1.2 遮音				3.0	0.67	-	-		-	
1.2.1 開口部遮音性能				3.0	1.00	-	-		-	
1.2.2 界壁遮音性能				-	-	-	-		-	
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-		-	
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-		-	
1.3 吸音				4.0	0.33	-	-		-	
2 温熱環境				2.6	0.35	-	-		2.6	
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-		-	
2.1.1 室温	快適・働きやすさ	温熱環境		3.0	0.38	-	-		-	
2.1.2 外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心	温熱環境 外皮性能		3.0	0.25	-	-		-	
2.1.3 ゾーン別制御性	快適・働きやすさ	温熱環境		3.0	0.38	-	-		-	
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ	温熱環境		1.0	0.20	-	-		-	
2.3 空調方式	快適・働きやすさ	温熱環境		3.0	0.30	-	-		-	
3 光・視環境				5.0	0.25	-	-		5.0	
3.1 昼光利用				-	-	-	-		-	
3.1.1 昼光率	快適・働きやすさ	光環境		-	-	-	-		-	
3.1.2 方位別開口	快適・働きやすさ	光環境		-	-	-	-		-	
3.1.3 昼光利用設備	快適・働きやすさ	光環境		-	-	-	-		-	
3.2 グレア対策				-	-	-	-		-	
3.2.1 昼光制御	快適・働きやすさ	光環境		-	-	-	-		-	
3.3 照度	快適・働きやすさ	光環境		-	-	-	-		-	
3.4 照明制御	快適・働きやすさ	光環境		5.0	1.00	-	-		-	
4 空気質環境				4.0	0.25	-	-		4.0	
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-		-	
4.1.1 化学汚染物質	快適・働きやすさ	空気質環境		4.0	1.00	-	-		-	
4.2 換気				4.0	0.30	-	-		-	
4.2.1 換気量	快適・働きやすさ	空気質環境		3.0	0.50	-	-		-	
4.2.2 自然換気性能	快適・働きやすさ	空気質環境		-	-	-	-		-	
4.2.3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ	空気質環境		5.0	0.50	-	-		-	
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-		-	
4.3.1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ	空気質環境		3.0	0.50	-	-		-	
4.3.2 喫煙の制御	快適・働きやすさ	空気質環境		5.0	0.50	-	-		-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		3.4	
1 機能性				3.7	0.40	-	-		3.7	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-		-	
1.1.1 広さ・収納性	快適・働きやすさ	機能性		-	-	-	-		-	
1.1.2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ	機能性		-	-	-	-		-	
1.1.3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ	機能性		3.0	1.00	-	-		-	
1.2 心理性・快適性				5.0	0.30	-	-		-	
1.2.1 広さ感・景観	快適・働きやすさ	機能性		-	-	-	-		-	
1.2.2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ	機能性		-	-	-	-		-	
1.2.3 内装計画	快適・働きやすさ	機能性		5.0	1.00	-	-		-	
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-		-	
1.3.1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ	機能性		3.0	0.50	-	-		-	
1.3.2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ	機能性		4.0	0.50	-	-		-	
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30	-	-		3.1	
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-		-	
2.1.1 耐震性	防災	耐震・免震		3.0	0.80	-	-		-	
2.1.2 免震・制振性能	防災	耐震・免震		3.0	0.20	-	-		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30	-	-		-	
2.2.1 躯体材料の耐用年数	防災	部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-		-	
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災	部品・部材の耐用年数向上		2.0	0.20	-	-		-	
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災	部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.10	-	-		-	
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災	部品・部材の耐用年数向上		5.0	0.10	-	-		-	
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災	部品・部材の耐用年数向上		4.0	0.20	-	-		-	
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	防災	部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-		-	
2.4 信頼性				3.6	0.20	-	-		-	
2.4.1 空調・換気設備	防災	信頼性		4.0	0.20	-	-		-	
2.4.2 給排水・衛生設備	防災	信頼性		3.0	0.20	-	-		-	
2.4.3 電気設備	防災	信頼性		4.0	0.20	-	-		-	
2.4.4 機械・配管支持方法	防災	信頼性		3.0	0.20	-	-		-	
2.4.5 通信・情報設備	防災	信頼性		4.0	0.20	-	-		-	
3 対応性・更新性				3.4	0.30	-	-		3.4	
3.1 空間のゆとり				4.0	0.30	-	-		-	
3.1.1 階高のゆとり				-	-	-	-		-	
3.1.2 空間の形状・自由さ				4.0	1.00	-	-		-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	-	-		-	
3.3 設備の更新性				3.4	0.40	-	-		-	
3.3.1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-		-	
3.3.2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-		-	
3.3.3 電気配線の更新性				5.0	0.10	-	-		-	
3.3.4 通信配線の更新性				5.0	0.10	-	-		-	
3.3.5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-		-	
3.3.6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-		-	

CASBEE® 横浜 | 評価結果 | 29-230



CASBEE横浜2017年版v.1.3

慶應義塾(日吉)記念館建替工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.3

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-			4.0
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	生物環境の保全と創出	4.0	0.30	-	-			4.0
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	まちなみ・景観への配慮	4.0	0.40	-	-			4.0
3 地域性・アメニティへの配慮				4.0	0.30	-	-			4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	地域性への配慮	4.0	0.50	-	-			-
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	敷地内温熱環境の向上	4.0	0.50	-	-			-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-			3.2
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-			3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-			5.0
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	自然エネルギー利用	4.0	0.10	-	-			4.0
3 設備システムの効率化		省エネルギー性能	設備システムの効率化	2.3	0.50	-	-			2.3
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-			3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	効率的運用	3.0	0.50	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	効率的運用	3.0	0.50	-	-			-
集合住宅の評価				-	-	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	効率的運用	-	-	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	効率的運用	-	-	-	-			-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-			3.4
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-			3.4
1.1 節水				4.0	0.40	-	-			-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-			-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-			-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-			-
2 非再生性資源の使用量削減				3.6	0.60	-	-			3.6
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.10	-	-			-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-			-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-			-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				5.0	0.20	-	-			-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-			-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.20	-	-			-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-			3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-			-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-			-
1 消火剤				-	-	-	-			-
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-			-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-			-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-			3.2
1 地球温暖化への配慮				3.2	0.33	-	-			3.2
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-			3.0
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-			-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-			-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
1 雨水排水負荷低減				-	-	-	-			-
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.33	-	-			-
3 交通負荷抑制				3.0	0.33	-	-			-
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.33	-	-			-
3 周辺環境への配慮				3.4	0.33	-	-			3.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				-	-	-	-			-
1 騒音				-	-	-	-			-
2 振動				-	-	-	-			-
3 悪臭				-	-	-	-			-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.67	-	-			-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-			-
2 砂塵の抑制				-	-	-	-			-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-			-
3.3 光害の抑制				4.4	0.33	-	-			-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				5.0	0.70	-	-			-
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-			-
上記以外の重点項目				-	-	-	-			-
<事務用途>				-	-	-	-			-
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	知的生産性向上への取組	-	-	-	-			-
<住宅用途>				-	-	-	-			-
健康と安心				-	-	-	-			-
1 化学汚染物質の対策		健康・安心	健康対策	-	-	-	-			-
2 適切な換気計画		健康・安心	健康対策	-	-	-	-			-
3 結露・カビ対策		健康・安心	健康対策	-	-	-	-			-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	防犯対策	-	-	-	-			-